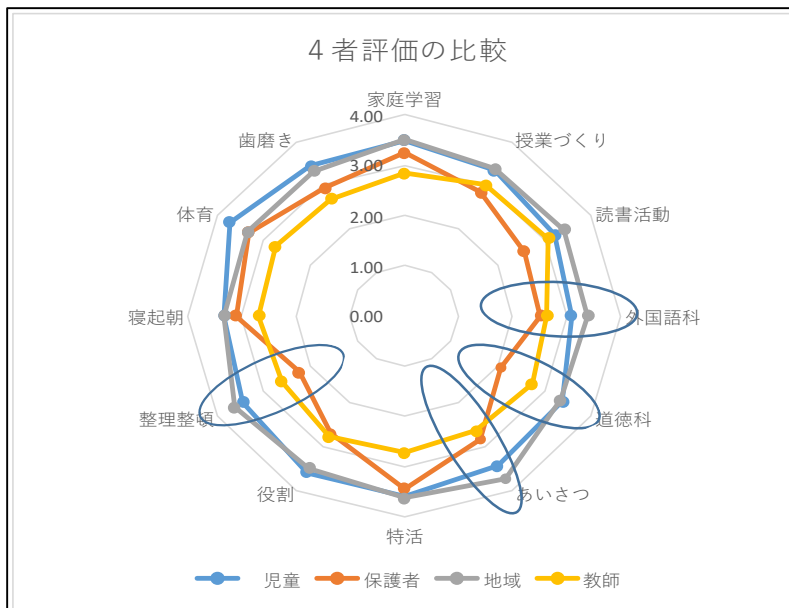
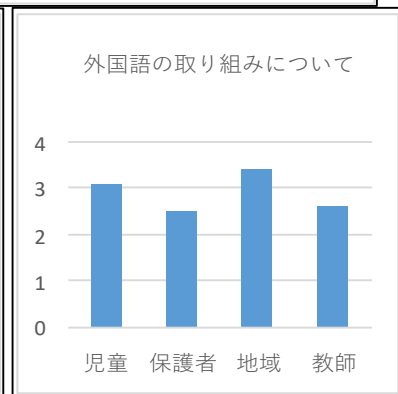
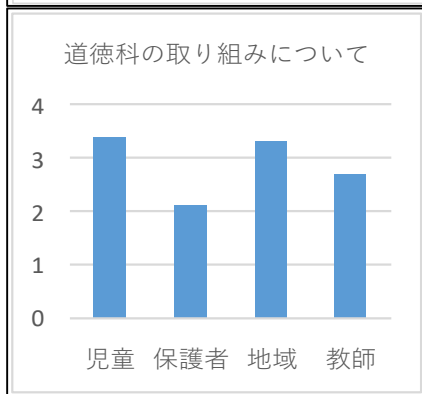


学校評価の結果から（地域・学校・保護者・児童の4者評価の結果）



2学期

第1回目4者評価について
 グラフの線に開きがある項目は課題であるということを示し、まとまりがある項目は評価が概ね一致していることを示しています。今回の評価を見ると、「外国語科」と「道徳科」及び「あいさつ」に関して評価にばらつきが見られた。これは学校で行っている外国語活動と道徳科の授業の取り組みの保護者や地域への情報発信が不足していたことを示していると考えられます。また、あいさつについては教師や保護者は課題であると感じていることを表しています。



道徳科の取り組みについて



本校では道徳科の授業研究会を行いながら道徳科の授業をどのように進めて行くのかを職員全員で学んでいます。子ども達が対話を通して様々な価値観に触れる場を設け、自分の生き方を見つめ直す時間として重視しています。（↑7月1年生の授業研究会の様子）

外国語科の取り組みについて



学習の様子

高学年は週に2時間、中学年は週に1時間、低学年は隔週に1時間の外国語科の授業を行っています。英語専科の勝田教諭とALTのダリル・ロー先生、英語指導助手の園田セシリア先生の3名が楽しい英語の学習の時間を児童に経験させてくれます。外国語科の時間は英語によるコミュニケーションを主として経験させながら英語を話したり、聞いたり、書いたりする活動を自然に楽しんでいきます。